

## 令和6年度第1回大阪府立博物館等指定管理者評価委員会 議事録

日 時：令和6年7月11日（木） 10:00～12:00

場 所：大阪府立近つ飛鳥博物館 2階会議室（オンライン併用）

出席者： 南委員、長友委員（リモート）、福光委員、川喜多委員  
（事務局）大阪府教育庁文化財保護課  
（指定管理者）AKN 共同事業体

### <開 会>

事務局より委員会成立を報告。

（出席委員4名、規則の定める定足数である委員5名の過半数を満たした。）

欠席委員には事前に今回の資料、評価表案を確認していただき、  
内容について特に異存がなかった旨を報告。

### <議 事>

#### 1. 評価項目及び評価基準にかかる指標の設定について

##### （1）弥生文化博物館のⅠ及びⅡ

事務局より評価票（案）について説明。

福光委員：Ⅱ(2)その他創意工夫に関する項目で、インターネットの動画公開の目標値の設定根拠はなにか。

事務局：特別展・企画展の解説動画を想定しており、今年度に予定している展覧会の回数（3回）を目安として設定している。

長友委員：昨年度の実績を踏まえた堅実な評価基準であるという印象。博物館が今後挑戦的な試みを行うことを考慮した場合、Ⅰ(3)「利用者満足度調査の結果」の目標値は現状の95%以上から引き下げて、90%以上などに設定することを提案する。

指定管理者：ご指摘を踏まえて再度検討したい。

南委員長：たしかに特別展や企画展は、テーマによって来館者の評価が分かれることがある。また、博物館の研究施設としての一面から、一般の来館者には難しい内容に踏み込む場合もある。そのため、常に万人から高い評価を得るのは難しいのではないか。

##### （2）近つ飛鳥博物館のⅠ及びⅡ

事務局より評価票（案）について説明。

川喜多委員：風土記の丘の来園者数実績は、どのようにして計算しているのか。利用者満足

度調査は風土記の丘の来園者も含まれているのか。

事務局：自動で計測をするカウンターを風土記の丘の入り口に設置している。また、満足度調査は博物館の来館者に限定している。

南委員長：風土記の丘や、博物館内設備の補修等については、所管課と指定管理者で分担して対応しているのか。

事務局：リスク分担表に基づき対応しており、大雨・台風後の倒木など、日常の維持管理の範疇を超える大規模な案件は所管課が対応している。

南委員長：I(1)内「調査研究による最新の成果の発信」について、近つ飛鳥博物館は館報の刊行を目標に掲げているが、弥生文化博物館には見られない。両館で内容が異なるのはなぜか。

事務局：両館の刊行物の形態が違うことによる。近つ飛鳥博物館では毎年の活動報告と研究成果を館報として刊行している。弥生では毎年の活動報告を要覧として刊行し、研究成果は別途不定期で研究報告として刊行している。

福光委員：I(2)「平等な利用を図るための具体的手法・効果」について、近つ飛鳥博物館では「子ども向け解説・リーフレットの提供等」を具体的な目標数値として挙げている。弥生文化博物館は目標数値を設定していないが、子ども向け解説やリーフレットについて、実際の運用において何か達成した例はあるか。

指定管理者：弥生では、常設展示で子ども用のワークシートや、館のキャラクターを活かした子ども用の解説シートを用意している。また、特別展の開催期間中には、子ども用の解説パネルを設置している。評価基準として数値を設定してはいないものの、子ども向けの配慮に努めている。

南委員長：その他、I、IIについて、異議はないか。(全員：異議なし)

### (3) 弥生文化博物館及び近つ飛鳥博物館のIII

事務局より評価票(案)についての説明。

川喜多委員：現在の指定管理者が契約当初の令和5年度に設定した指定管理期間3年間の収支計画書と、今年度の最新の事業計画書を比較すると、内訳部分でいくつか変更点がある。たとえば人件費については当初の計画書より増額しているが、どういった事情か。

指定管理者：人件費については、時給単価の増額のほか、SNSなどの運用実績に鑑みて、広報担当の人員を増員するため、増額となっている。

川喜多委員：水道光熱費については令和6年度の事業計画書だと令和5年度当初の計画より低減されている。これについてはどうか。

指定管理者：実績値を踏まえて調整を加えている。

事務局：弥生文化博物館については令和4年度に設備の更新をしたため、消費電力が抑えられている可能性も考えられる。

南委員長：ほか、意見はないか。

指定管理者：弥生文化博物館の I (3) の利用者満足度調査結果の目標数値については、各委員の意見を踏まえ、「やや満足」を含めて 90% としたい。

川喜多委員：両館で異なる数値を設定する理由が特にないのであれば、両館ともに 90% で統一してはどうか。(全員：異議なし)

南委員長：今回の意見を踏まえ、事務局で評価票案の修正を進められたい。評価票及び本日の議事要旨については、事務局でまとめたものを委員長が最終確認して成案とするということによろしいか。(全員：異議なし)

<閉 会>